

こどもの人権に係る課題（こども家庭支援センターこども給付課作成）

1 ひとり親家庭等への自立支援の取り組みについて

概	母子・父子家庭等のひとり親家庭の生活の安定を促進し、親の就労などを支援することにより、経済的自立の促進を図ることに取り組んでいます。
要	<p>(1) 自立支援のための相談等事業</p> <p>こども給付課の母子父子自立支援員がひとり親等の相談を受け、その方の状況に応じた自立に必要な支援について、情報提供や指導を行います。</p> <p>(2) 養育費等確保支援事業</p> <p>養育費を受け取ることで経済的に自立し、そのこども達が健やかに成長できるよう、養育費について離婚時に取り決めるよう周知を行っています。そのために、養育費の取り決めに口約束でなく公的書類として作成したり、その後養育費の未払いがあった場合の強制執行などに対する補助を行っています。</p> <p>(3) 就労支援事業</p> <p>就労相談員が就労や転職のサポートを行う就労相談や、パソコン講座、在宅就業希望者への支援などを委託事業として実施しています。</p>

評価視点	A 取組状況や優れている点	B 問題点・課題	C 今後の展開	D この施策・事業の意見
① 人権擁護の担保	<p>【自立支援のための相談等事業】</p> <p><相談対応></p> <p>・母子父子自立支援員が、窓口や電話でひとり親またはひとり親になる予定の方からの相談を受けている。経済的な相談も多く、各種制度の案内や相談等の予約受付なども兼務している。日常生活支援員の派遣に関する相談も年数件あるが、日数や条件が合わず、実施に至っていない。また必要に応じて国や県、他部課等の制度の案内をしている。</p> <p>《相談実績》</p> <p>R4年度 1,647件、R3年度 2,118件</p>	<p>・市の事業や、どの制度にも該当しないケースがあり、対応に苦慮する場合がある。</p>	<p>・制度内容も頻繁に変更していくので、情報収集に努めながら対応していく。</p>	<p>a-1.</p>

評価 視点	A 取組状況や優れている点	B 問題点・課題	C 今後の展開	D この施策・事業の意見
① 人権擁護の担保	<p>【養育費等確保支援事業】</p> <p>＜相談対応＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>養育費等に関する弁護士相談</u>を年20回実施している。そのうち4回は、国際離婚の相談を優先としている。限られた時間で有意義な相談が受けられるよう、申し込みの際、電話で事前に必要な内容を確認している。基本的に電話は折り返しかけなおす形をとっている。 <p>《相談実績》 R4年度 63件、R3年度 67件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元家庭裁判所調停員による、<u>養育費オンライン相談</u>を月2回実施している。相談方法も電話かZOOMのいずれかを選択できるようになっている。申込みは、開庁時間外でも受けられるようインターネットで受付けている。 <p>《相談実績》 R4年度～ 28件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数と実施回数について、適度な回数で相談会を実施できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容等について検討しながらより経済的にも自立が図れるよう努めていく。 ・養育費確保事業を含めたひとり親施策等についてのニーズ調査を今年度実施し、今後の取り組みについて検討していきたい。 	<div data-bbox="1608 260 2056 539"> a-2. </div>
	<p>＜養育費等確保にかかる手続きの補助＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>公正証書等作成補助</u>として、養育費対象の児童を養育している親で、公正証書等の作成費用を負担した場合、養育費にかかる部分についての費用を補助している。また、<u>保証契約補助</u>として、取り決めた養育費が支払われなかった場合の保証契約についての費用を補助している。<u>強制執行</u>にかかった費用についても補助対象としている。 <p>《補助実績》</p> <p>公正証書 R4年度 41件、R3年度 38件</p> <p>保証契約 R4年度 1件、R3年度 1件</p> <p>強制執行 R4年度 0件 (R4～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養育費保証契約補助事業や強制執行については、取り決めが行われなかった場合に、その経済的な負担を軽減するための補助制度である。そのため、あまり実績がない現状がある。 		

評価 視点	A 取組状況や優れている点	B 問題点・課題	C 今後の展開	D この施策・事業の意見
① 人権擁護の担保	<p><セミナー等の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・養育費等について広く知ってもらうためのセミナーや講演会を年1回開催している。 <p>《参加者数》R4年度 4人、R3年度 7人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養育費セミナーや講演会は参加者が少ない現状がある。 		
	<p>【就労支援事業】</p> <p><相談対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その方の状況や適性にあった働き方や就職先を、相談しながら一緒に考え、求人情報を提供する就労相談を週3回実施している。（児童扶養手当の現況届を窓口で受けるため、8月のみ毎日実施。） <p>《相談実績》R4年度462件、R3年度295件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね必要に応じた対応ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談者の状況にあう条件の就職につなげられるよう対応していく。 ・委託先の横須賀商工会議所とも就職先等について情報共有を図りながら、進めていく。 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業は、引き続き、希望者に対応していく。 	<div>a-3.</div>
	<p><自立支援プログラムの策定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のひとり親家庭の方の実情に応じた自立支援プログラムを策定し、ハローワークや母子家庭等就業・自立支援センターと緊密に連携しつつ、きめ細かな支援等を行っています。 <p>《策定件数》R4年度 40件、R3年度 40件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね必要に応じた対応ができています。 		
	<p><講座等の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所に委託し、就職に有利になるようパソコン講座を年3回実施している。 ・在宅就業を支援するための講座や交流会、説明会などを実施している。 <p>《参加者数》R4年度 78人、R3年度 71人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン講座は、受講した後、本人が希望する職種があるため、直ぐに就労には結び付かない場合がある。 		

評価 視点	A 取組状況や優れている点	B 問題点・課題	C 今後の展開	D この施策・事業の意見
① 人 権 擁 護 の 担 保	<p>＜資格等の取得支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援教育訓練給付金は、適職に就くために必要な技能や資格を取得するため、ホームヘルパー、医療事務など指定を受けた教育訓練講座を受講する場合、最大で受講料の6割相当額（上限20万円、下限1万2千円）を給付している。 ・ 高等職業訓練給付金は、資格取得（看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士など）を支援するため、ひとり親家庭の親が1年以上（※令和3～5年度のみデジタル分野等の民間資格も対象）養成機関で修業する場合の生活費を補助するもの。また、就業しないと生活ができない場合などやむを得ない状況に限り、受講状況を適切に確認できることを前提に通信制を認めている。 ・ 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業は、ひとり親家庭の親及び子が、高等学校卒業程度認定試験のための受講費用の一部を受講開始時、講座修了時及び試験合格時に支給している。 <p>《給付実績》</p> <p>自立 R4年度 8件、R3年度 12件 高等 R4年度 20件、R3年度 17件 高卒 R4年度 0件、R3年度 1件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね必要に応じた対応ができている。 ・ 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業は、数件相談はあったが、申請には至らなかった。 		

評価 視点	A 取組状況や優れている点	B 問題点・課題	C 今後の展開	D この施策・事業の意見
② 当事者の 視点	<p>【ひとり親の立場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の事情に配慮し、その方に必要な支援を提供する。 <hr/> <p>【ひとり親の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの悩みを打ち明けたり話し合ったり、ひとり親家庭が抱える悩みを相談・共有し合える場として、ひとり親家庭交流会等をNPO団体等が開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事情があるため、要望に添えず、代替案の提供も難しいことがあり、他機関を紹介せざるを得ない場合がある。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね趣旨に添った開催ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ひとり親が安心してことができ、孤立しないようにできる限り寄り添った対応を心がけていく。 ・引き続き、支援団体等と情報共有を図りながら進めていく。 	<div>b.</div>
③ 周知啓 発	<p>【事業の周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養育費等確保支援事業に特化したリーフレットを作成し、本庁舎や行政センター、戸籍の届出窓口である窓口サービス課、デュオよこすか、横須賀市弁護士会、横須賀公証役場などに配架している。 ・窓口に児童扶養手当の相談に来られた市民に配布するリーフレットにも、養育費等確保支援事業や就労相談を掲載している。また、このリーフレットは行政センター等にも配架している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページには各種事業を掲載しているが、リーフレットの配架と児童扶養手当受給者への通知等を送付する際に同封することが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民に必要な情報が届くように努めていく。 	<div>c.</div>

評価 視点	A 取組状況や優れている点	B 問題点・課題	C 今後の展開	D この施策・事業の意見
④ 関係機関等との連携	<p>【委託事業の視察等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労相談や、パソコン講座、在宅就業希望者への支援など、委託事業者との打合せや現地視察などを行い、現状把握に努めている。 ・就労支援については、ハローワークやジョブスポットなど関係機関と情報共有や情報交換を行っている。 <hr/> <p>【ひとり親の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの悩みを打ち明けたり話し合ったり、ひとり親家庭が抱える悩みを相談・共有し合える場として、ひとり親家庭交流会等をNPO団体等が開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を共有しながら、ひとり親の自立に向けたきめ細やかな支援が必要である。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体等と情報共有しながら、ひとり親が孤立しないよう、交流を図れる場とすることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、委託先等と連携を図りながら、事業を継続していく。 ・引き続き、支援団体等と情報共有を図りながら、事業を継続していく。 	<div>d.</div>
⑤ 研修	<p>【相談員および市職員の知識向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子父子自立支援員は、年数回、神奈川県等が主催する研修に参加している。 ・市職員の知識向上のため、国や県、他部課が主催する講座や研修会に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の状況に応じた自立に必要な支援を行うためにも、職員・自立支援員の知識向上、対応力アップが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な情報提供や指導を行えるよう、職員・自立支援員ともに研修を継続していく。 	<div>e.</div>
⑥ その他	・	・	・	<div>f.</div>